

エネルギーの選択肢と再処理、高速増殖炉開発の関係

		原子力委員会決定 「核燃料サイクル政策の選択肢について」(2012年6月21日)	
		再処理	高速増殖炉
エネルギー・環境 会議「エネルギー・ 環境に関する選択 肢」(2012年6月29 日)	原子力比率0%	直接処分	開発中止
	原子力比率15%	直接処分、再処理 併存 六カ所再処理事業 の継続	もんじゅ開発を継 続(性能試験、定格 出力運転)
	原子力比率20-25%	全量再処理政策が 有力 再処理、直接処分 併存も可。	実用化を前提に、 もんじゅ開発推進。

- 原子力比率15%を選択する＝六カ所再処理工場継続＋もんじゅ開発継続、ということになってまいりますので、十分注意して下さい。
- なお、原子炉40年廃炉、新規増設無しだと大体12, 3%程度になります。